

英検 受けてみませんか？



大学入試改革により、英語外部検定が注目をされています。大学入試はもちろんのこと、中学・高校入試においても英検などの英語外部検定の活用が近年増加傾向にあります。今後、英検などの英語外部検定が今よりも重要になってくることは間違いないでしょう。

早いうちから英検などの英語外部検定にチャレンジし、有利に受験が出来るようになりましょう！



～中学・高校入試～

近年、中学校・高校においても、英検が加点、判定優遇・合否参考に利用される学校が増えています。これからはますますこの傾向が強まっていくことが予想されています。今や、受験の世界は「持っているれば有利→持っていないと不利」に変わりつつあります。

☑中学入試

受験科目に英語を採用している中学校例（滋賀・京都）

立命館守山、光泉、平安女学院、花園、ノートルダム女学院

☑高校入試

英検が利用できる高校例（滋賀・京都）

光泉、近江、大谷、京産大附属、京都橘、立命館、文教、花園

※掲載のない学校においても、推薦入試において検定が加味されることが多いです。

個別指導 京進スクールワン

～大学入試～

外部検定の級・スコアで級・スコアで
さまざまなメリットが

①出願資格

大学・学部が指定する英語外部検定の級・スコアを持っていると出願が可能。

②得点換算

英検準2級を持っていると独自試験の英語「70点」に換算。同様に2級→80点、準1級→100点など。「英検2級以上を取得している場合、個別試験の英語を免除する」というケースもあり、その場合は英語以外の教化を試験場で受ければよい。得点換算のほか大学独自の英語試験を受験して、良い方の得点で合否判定する大学もある。

☐検定別採用率(2019年)

※英語外部検定を導入している学校における採用率

○推薦・AO入試

ほとんど学校で英検を採用。次いで、TOEIC、TOEFL、GTECが続く。

○一般入試

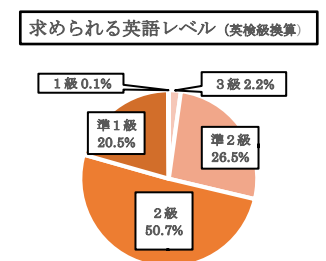
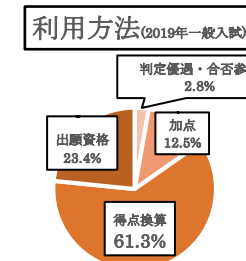
こちらも、ほとんど学校で英検を採用。次いで、TEAP、GTEC、TOEICが続く。

③加点

推薦入試やセンター試験、個別試験の英語の得点に「英検準2級以上は10点、2級以上は20点、準1級は30点加算する」など。

④判定優遇・合否参考

「英検準2級以上を取得している場合、合否判定の際に優遇する」など。



各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CET	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL IBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1190	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1189 960	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120	1949 1700	959 690		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100	1699 1400	689 270					620 320

英検

京進で英検の対策が出来るって知ってました？

京進生なら京進にて英検のお申し込みをして、受けていただくことができます。草津会場が1番近い試験会場となります。詳細は、申込書をご確認ください。守山教室にて英検に向けて対策授業を受けてもらうことが可能です！英検の受験、対策授業のお申し込みは教室まで！

